

広島都市圏

ホタル増やそう 幼虫150匹放流

可部小児童 小川に



校内の小川にホタルの幼虫を放流する可部小児童

広島市安佐北区の可部小の4年生が16日、ゲンジボタルの幼虫を校内のビオトープの小川に放した。かつて学校周辺で舞っていたホ

タルを増やそうと、同区の住民グループ「可部小にホタルを飛ばす会」が協力した。児童102人が、山本一雄会長(69)たちか

らホタルの生態について説明を受けた後、体長約3センチの幼虫150匹を、餌のカワニナとともに丁寧に放流した。渡辺夢華さん(10)

は「川がきれいじゃないと育たないと分かった。舞う姿を早く見たい」と話した。幼虫の放流は2012年から毎年続け、5

回目。同会によるホタルは徐々に増えた。昨年は一晩で最大が飛んでいるのを見たという。

(中川雅)